



この用紙費用の一部は「世界の子どもにワクチンを日本委員会 (JCV)」に寄付されています。

株主メモ

■証券コード	2321
■上場年月日	2002年9月10日
■上場証券取引所	大阪証券取引所 「JASDAQ」
■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	毎年6月開催
■基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
■公告の方法	当社のホームページに掲載する http://www.softfront.co.jp/
■株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
■お問い合わせ先	【郵便物送付先】 〒183-8701 東京都府中市日綱町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 【電話照会先】 ☎ 0120-176-417 【ホームページ】 http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【株式に関する住所変更等のお届け及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡下さい。

Softfront Report

2012年3月期通期

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2012年3月期決算につきまして

2012年3月期の決算につきまして、ご報告させていただきます。

売上高773百万円、営業損失13百万円、経常損失16百万円、当期純損失18百万円となりました。

NGN関連分野ならびに複合機メーカー向け分野等の受注が好調であったものの、電機メーカー分野の受注が減少したことなどにより、当初の業績予想を達成することができず、株主の皆様には大変ご迷惑・ご心配をおかけすることとなりましたことを心よりお詫び申し上げます。

2013年3月期における取り組み

当社は、2010年5月14日付で発表した新たな中期経営方針の下、「収益基盤の拡大」と「黒字体質への転換」の二つを対処すべき重点課題と定め、2011年3月期に黒字転換いたしました。2012年3月期は経常損失を計上することとなりました。

今期は、二つの対処すべき重点課題に対する取り組みをさらに推し進め、業績の安定と拡大に努めてまいります。

当社を取り巻く市場環境は、NTTグループが進めているNGNの商用サービスが進展していると共に、スマートフォン／タブレットの普及など、当社が得意とする事業分野の市場が拡大する傾向にあります。このような状況下において、更なる顧客獲得や商用ライセンス、製品提供の増加を図るとともに、LiveCard事業等の新たな事業分野を成長させ、安定かつ持続的な事業拡大基盤を構築してまいります。

一方、経費面においては、稼働管理の更なる徹底と年間の費用の適正化を図り、黒字達成に向け全力を尽してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。今後とも一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2012年6月吉日

代表取締役社長 阪口克彦

Management Policy 中期経営方針

ソフトフロントは、

当社のSIP技術をデファクトスタンダードにする

ソフトウェアのライセンスビジネスを成功させる

を経営基本方針としています。

2010年5月14日付で発表した「中期経営方針」の下、「収益基盤の拡大」と「黒字体質への転換」の2つを対処すべき重点課題と定めて事業を進めてまいりました。

2013年3月期は、さらなる取り組みを推し進め、業績の拡大に努めてまいります。

収益基盤拡大

安定した収益を確保できる分野の創出、拡大 | ライセンスビジネスに重点をおいた事業展開

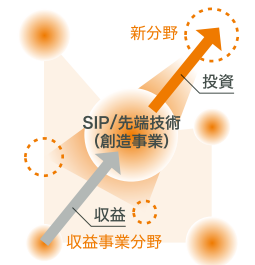
<収益基盤拡大に向けて>

ソフトフロントの強みである技術の優位性を活かし、NTTグループとの業務資本提携を活用することで、SIPを中心とした先端技術に取り組む創造事業から「収益性の高い分野」、「成長分野」を収益事業分野として育てていきます。

そして収益事業分野からの収益を創造事業に投資し、更なる収益事業分野を創出していくことで、収益事業分野を増やし、基礎強化に取り組んでいきます。

<2013年3月期の取り組み>

2011年9月に資本参加し、共同設立したデジタルポスト株式会社においてサービスを開始したLiveCard事業など、特定顧客の業績動向に左右されない構造ならびに期末に向けた後半に売上が偏重する構造の改善を目指しております。また、商用製品搭載時に発生するライセンス収入の対象機器も増加してきていることから、今後の継続的な収入が見込まれる状況になってきております。これらの対処を進めることで収益基盤の拡大につなげてまいります。



黒字体質の確保

業績の変動に対応し、黒字が確保できる柔軟な費用構造への転換

<黒字体質の確保に向けて>

当社を取り巻く市場は、新規市場という性質から、拡大規模やスピードの予想が難しい状況にあります。このような市場環境においても、右に挙げる施策を更に進めることで、柔軟な費用構造とし、着実に収益をあげていきます。

<2013年3月期の取り組み>

ソフトウェアの適正管理により適切な規模となるよう改善された減価償却負担、業績連動型賞与制度等、進めてまいりましたコスト構造の転換は一定の効果があつたものの、期の後半における業績変動に対応しきれなかった点が課題となりました。この点を改善すべく、さらなる稼働管理、経費管理を行い、年間で費用を適正化できるよう、取り組んでまいります。

●ソフトウェア利益率の向上

引き続きソフトウェア資産の管理を徹底し、減価償却負担を適正化することによって、ソフトウェア利益率を向上させます。

●外注加工費の流動化

一部定期的に委託していた外注作業の内製化を進め、固定的な外注加工費を減少させることにより、今年度も更なる外注加工費の流動化を進めます。

●業績連動給

引き続き人件費が業績の変動に対応できるようにしてまいります。

●固定費削減

引き続きムダな支出を防ぎ、効果的な運用を継続させてまいります。



FINANCIAL SECTION 1 | 財務諸表

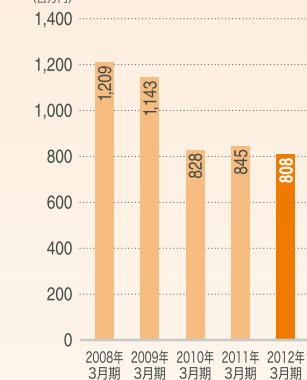
■ 貸借対照表

(単位：千円)

	第14期 2011年3月期	第15期 2012年3月期
資産の部		
I 流動資産	679,712	605,448
II 固定資産		
有形固定資産	15,058	11,990
無形固定資産	104,198	138,915
投資その他の資産	46,732	51,782
資産合計	845,702	808,136
負債の部		
I 流動負債	85,522	62,725
負債合計	85,522	62,725
純資産の部		
I 株主資本		
資本金	2,792,479	2,792,479
資本剰余金	2,574,639	2,574,639
利益剰余金	△4,606,938	△4,625,431
II 新株予約権	-	3,723
純資産合計	760,180	745,411
負債純資産合計	845,702	808,136

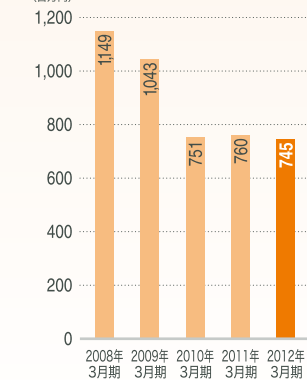
■ 総資産

(百万円)



■ 純資産

(百万円)



FINANCIAL SECTION 2 | 財務諸表

損益計算書

(単位:千円)

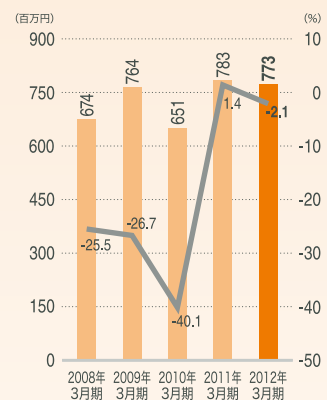
	第14期 2011年3月期	第15期 2012年3月期
I 売上高	783,215	773,205
売上原価	370,621	399,000
II 売上総利益	412,594	374,205
販売費及び一般管理費	401,789	387,787
III 営業損益	10,804	△13,582
営業外収益	406	64
営業外費用	14	2,555
IV 経常損益	11,196	△16,073
特別利益	-	-
特別損失	304	-
V 税引前当期純損益	10,892	△16,073
法人税、住民税及び事業税	2,420	2,420
VI 当期純損益	8,472	△18,493

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

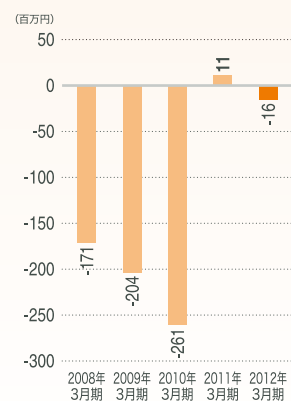
	第14期 2011年3月期	第15期 2012年3月期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	33,799	128,542
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,812	△103,524
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	-	1,228
IV 現金及び現金同等物の増減額 (△:減少)	△42,013	26,246
V 現金及び現金同等物の期首残高	335,802	293,789
VI 現金及び現金同等物の期末残高	293,789	320,036

売上高/経常利益率



■ 売上高 (左軸)
— 経常利益率 (右軸)

経常損益推移



INFORMATION | インフォメーション

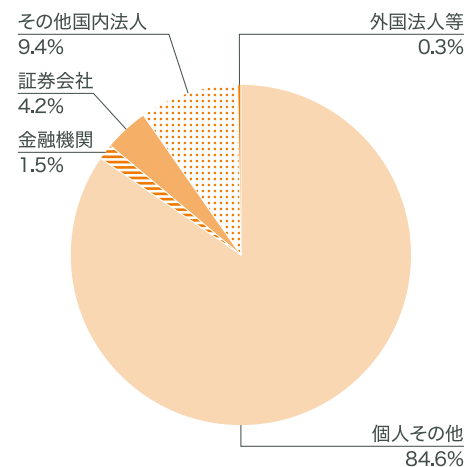
株式の状況

発行可能株式総数	324,400株
発行済株式総数	92,002株
株主数	4,408名

大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
村田 利文	7,704	8.37
NTTインベストメント・パートナーズファンド投資事業組合	5,730	6.22
長屋 正宏	3,517	3.82
小川 武重	2,035	2.21
株式会社SBI証券	1,526	1.65
大阪証券金融株式会社	1,136	1.23
寶門 行雄	1,000	1.08
株式会社長屋商会	917	0.99
佐々木 誠	708	0.76
マネックス証券株式会社	707	0.76

所有者別状況



株価の推移

